



蒜高タイムズ

蒜山高校学校新聞

生徒会新役員認証式（九月二十八日）



交通LHR（十月一日）
真庭自動車学校の瀧谷康憲さんをお迎えして、「自転車・原付の正しい乗り方」と題して講演していただきました。講演では、実際の事故現場の写真等をもとに、とても分かりやすく説明してくださいました。安全運転の必要性を呼びかけてくださいました。「蒜山高校生も早速今日の下校から、安全に登下校してくれると思います。今日はお忙しい中、大変有り難うございました。」と橋本先生も締めくくられました。

生徒会執行部新役員の立会演説を受けて、新旧役員の入れ替えが行われました。式に際し旧生徒会長三年生の白川健四郎君は「振り返ってみると長いようで短かった。旧生徒会が行った新たな取り組みも、みんなの協力があつたからこそ成功することが出来た。新生徒会執行部もみんなの力で支えて欲しい。半年間有り難うございました。」と挨拶しました。校長先生は「三座祭での校歌、吉野君の言葉に胸がジンときた。「心のおと」にも、「結果も大切だが、皆と頑張つていく過程で、成功させたい思いの方が投げ出したい思いよりも強かつたから成功できた。」とあった。まさしく「やらされたなやつてやろうぜ」のテーマ通りの過程と成功を収めてくれた。三年生も昨年の悔しさをばねに頑張つてきたからこそ、今がある。人間は成長するものという証を見せてくれた三座祭でもあった。旧生徒会は目に見える活躍を見せてもらえた。生徒会新聞もラミネートして保存しようと思う。三年生の神田さんが「次の生徒会もやつと終わつたではなく、もつと統いて欲しい。終わつて欲しくないという気持ちを持てるようなん……」と言つてくれたように、学校生活を送つていこうえでも、三座祭のテーマを忘れることがなく頑張つて欲しい」とおっしゃつてくださいました。新生徒会長に当選した二年生の新谷雄紀君は「一年前はここに立つとは思つてもいなかつた。これからはみんなで助け合つて頑張つていただきたい」と力強く抱負を語つてくれました。生徒会執行部新役員は次の通りです。会長一年生新谷雄紀君、副会長二年生佐藤太地君、一年生植木良君、庶務会計一年生中嶋志城人君・野島美里さんです。新役員にも乞うご期待！

第67号
毎月25日発行
H21. 10. 22
蒜山高校 教務課

Tel:66-2016
hiruzen07@pref.okayama.jp

一年生進路ガイダンス
(十月七日)

職業についての理解や心得、マナーについて「総合的な学習」の一貫として、進路ガイダンスを実施しました。進路講演会の後、十一の職業別ブースの分かれての説明会は、一年生にとつて進路を具体的にすることだと思います。



オープنسクール（十月六日）

蒜山中学校をはじめ、四つの中学校から合計四十八名の中学生がオープنسクールに参加しました。普段通りの蒜山高校を見てもうため、平日に行われたオープنسクールでは、六つの授業を六十分かけて参観し、その後、学校紹介のスライドショーを見ました。急遽、元生徒会長の白川君が蒜山高校の良さを伝えてくれる場面もあり、見に来てくれた中学生にとって有意義な時間になつたことだと思います。最後に書いてもらつたアンケートにも「スライドショーで見た先輩達の笑顔から楽しさが伝わってきました。」「授業はとても集中していました。」など蒜山高校生の良い所もしつかりと伝えられたのではないかと思います。

11月の予定

- 6日(金)薬物乱用防止LHR
- 9日(月)～13日(金)第2回公開授業週間
- 20日(金)AED講習会(1年生)
- 24日(火)～27日(金)交通街頭指導
- 25日(水)～27日(金)免許オレンジーション
(3年生)
- 27日(金)岡山文化観光検定

人権LHR（十月九日）
五・六限に「ラストゲーム～最後の早慶戦～」という映画を鑑賞しました。戦時中の日本を舞台に、対抗戦をすべく奔走する関係者、社会や家族と交錯する中での若者の思いも描かれており、とても考えさせられる内容でした。映画の中での言葉です。「野球とは、生きて我が家（ホーム）に還るスポーツである。」

球技大会中止
生徒皆の楽しみの一つである球技大会ですが、インフルエンザ等の状況も踏まえ、集団感染の防止のため、急遽中止させていただきました。球技大会 자체は延期の方向で考えていくつもりです。

三座祭バザー

三座祭では保護者の方の御厚意により、昨年同様バザーを開催していただきました。当日は暑い中、またお忙しい中多くの保護者の方に御協力いただき、収益金が90,002円となりました。今年度につきましては暖房の使用を予定しております。保護者の皆様にはこの場を借りて御礼申し上げます。